

受験番号:33IPCN005

問 1

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

目標を含む検出待ちの画像を取得することと、

予め訓練された第 1 ニューラルネットワークによって前記検出待ちの画像の第 1 特徴情報を取得し、予め訓練された第 2 ニューラルネットワークによって前記検出待ちの画像の第 2 特徴情報を取得することと、

前記第 1 特徴情報と前記第 2 特徴情報とを組み合わせることにより、組合せ特徴情報を取得することと、

前記第 2 ニューラルネットワークによって前記組合せ特徴情報に基づき、目標検出結果を取得することと、を含む目標検出方法であって、

前記第 2 ニューラルネットワークは、

入力された前記検出待ちの画像に基づいて前記第 2 特徴情報を取得するための特徴入力層と、

前記第 1 特徴情報と前記第 2 特徴情報とを組み合わせることにより、前記組合せ特徴情報を取得するための第 1 特徴組合せ層と、

前記組合せ特徴情報に基づき、前記目標検出結果を取得するための目標検出層と、を含む、

目標検出方法。

【請求項 2】

前記第 1 ニューラルネットワーク及び前記第 2 ニューラルネットワークを訓練することをさらに含む、請求項 1 に記載の目標検出方法。

問 2

【背景技術】

人々の生活水準の向上に伴い、健康意識がますます多くの消費者の心に深く入り込み、それに伴って衣食住や交通などの日常生活の各方面では、健康と安全性がより重視されることになる。体の新陳代謝には、汗の排出が非常に必要で、我々の汗には、一定の代謝廃物があるため、ある程度で「汗が出ること」は、「排毒作用」を有することが広く知られている。しかし、汗における無機物が大量に蓄積することは、皮膚の pH 値を変

え、皮膚に一定の損傷を与える。

現在、織物に抗菌性を付与することは、主に後処理方法を用いて実現され、そのプロセスが抗菌繊維の作製に比べてより簡単で便利である。織物に応用される抗菌剤が多く、そのうち、ハラミン抗菌剤は、ハロゲン抗菌元素とするため、効果的な抗菌の作用を奏し、且つその化学構造におけるN-H結合とN-X結合との変換によって「再生可能」という独特な抗菌性を実現することができることにより、大部分の抗菌剤によって処理された織物の抗菌性が使用時間の増加に伴い、徐々に消えてしまう欠点を克服する。

問 3

【発明を実施するための形態】

図1に示すように、本発明はシリンダヘッドの加工に用いるバリ取り装置を提供し、シリンダヘッドの加工に用いるバリ取り装置は、台座1と、ネジロッド2と、ホルダー3と、手動式伸縮ロッド4と、第1回転モータ5と、第1テーパギアセット6と、第2回転モータ7と、第2テーパギアセット8と、接続ロッド9と、接続板10と、ディスク11と、デッキブラシ12と、ステージ13と、シリンダヘッド本体14と、排出口15と、を含み、ここで、台座1の内側底部には、固定ロッドによってステージ13が固定されて装着されており、且つステージ13の上にシリンダヘッド本体14が係合して接続されている。

動作原理は以下となる。該シリンダヘッドの加工に用いるバリ取り装置を使用するときに、まず、加工されるシリンダヘッド本体14をステージ13に係合させて置く、次に第1回転モータ5を起動して第1テーパギアセット6によって手動式伸縮ロッド4を駆動して左右に移動させる。

第2回転モータ7を起動して第2テーパギアセット8によって下のディスク11を駆動して回転運動をさせ、ディスク11の下におけるデッキブラシ12は、シリンダヘッド本体14に対して左右に移動して加工を行い、より全面的にシリンダヘッド本体14にバリ取りを行う。